



令和5年8月20日 こせり保育園 担当 熊澤

もくもくとした入道雲が青空いっはいに広がる中、元気に過ごしている子ども達です。

先月末に、保育者が紫キャベツを使った色水実験を行いました。紫色のゆで汁に、酢や重曹を入れると赤や青、ピンク、緑と色が変化していく様子を見て「手品みたい!」「何でだろう?」と不思議に思う気持ちを友だちと共有していました。また、その経験から、「黄色と赤でオレンジがね。」「赤と青で紫だよ。」と色に興味を示した子がおりました。良い機会だと思い、マーブリングやタイダイ染めに挑戦してみました。

マーブリングは、水を張った容器に水に浮かぶ「マーブリング液」という物を数色たらし、つまようじを使って作った模様を画用紙などに移します。

タイダイ染めは、布類を輪ゴムで縛り染料を染みこませることでさまざまな模様になります。不思議なことに、大人が良く考えて作った物より、子ども達の素直な思いで仕上げる物のほうが、とても素敵に仕上がっておりました。子ども達の豊かな感性をこれからも大切にしたいと改めて感じた時間でした。

今後は運動会の練習が始まります。体調にも気を付けながら、楽しく進めていきたいです。

